

令和5年度第1回越谷市文化財調査委員会会議録

- 1 開催日 令和5年8月1日(火)
- 2 会場 越谷市役所第二庁舎3階 教育委員会室
- 3 開閉会 開会 午前10時
閉会 午後12時30分
- 4 出席委員 7名
板垣 時夫委員、加藤 幸一委員、高崎 光司委員、橋本 雄一郎委員、
秦野 秀明委員、林 貴史委員、矢口 孝悦委員
- 5 事務局出席者
小泉教育総務部長、木村生涯学習課長、北郷副課長、橋本主幹(統括)、
菟原主幹、栗原主任、村田主事
- 6 傍聴者 傍聴申請なし

会 議 次 第	
1	開会
2	自己紹介
3	委員長及び委員長代行の選出について
4	報告事項 (1)文化財保護事業結果について (2)文化財保護事業計画について
5	その他
6	閉 会

【会議内容】

- 1 開会 北郷副課長(司会)
- 2 自己紹介 委員の自己紹介及び会議に出席にしている職員を紹介する
- 3 委員長及び委員長代行の選出について
 - 司 会 越谷市文化財調査委員に関する規則第7条第1項に基づき委員に諮る。
 - 委 員 委員長は板垣委員がよいのではないかという意見がでる。
※異議なし
 - 司 会 委員長代行について委員に諮る。
 - 委 員 事務局の一任の声
 - 事務局 委員長代行に矢口委員を提案する。
※異議なし。

※委員の推薦、事務局の提案により委員長に板垣委員、委員長代行に矢口委員が選任される。
- 4 報告事項
 - (1)文化財保護事業結果について
(主な質疑)
 - 委 員 学校の社会科資料室などには、千歯扱きや古いカマド、電話機などが保管されており、処分してよいものか、どのように整理すべきかなどが課題となっている。生涯学習課で引き取ってもらうことや、資料評価などをしてもらうことはできるのか。
 - 事務局 教育委員会では、市内に残る民具類の収集・保管を行っている。処分するものがある場合は、事前に生涯学習課にご相談いただきました

い。どのようなものがあるのかを確認させていただき、現在教育委員会で保管していないものなどがあれば、引き取らせていただく。

○委員 旧荻島公民館はいつから文化財資料保管庫という名称となったのか。

○事務局 条例上の名称ではなく、建物の火災保険を掛けるにあたり使用している名称である。

○委員 資料編17ページ兵隊屋敷とあるが、千疋にも東方にも兵隊屋敷があるが、どこを指しているのか。

○事務局 千疋にあったとされる兵隊屋敷のあらかたの場所は確認しており、他にも宮本町にもあったと話を聞いている。しかし、規模や場所の特定などは確認できていない。

○委員 B29墜落について、昭和19年12月という説明を受けたが、裏付けを進めると昭和20年の春、3、4、5月の可能性が高い。

○事務局 事務局で調査している範囲では、昭和20年の春という話や、昭和19年の年末であるという話があるため、いまだ確定はしていない。また、委員のお調べ頂いた事について、教えていただきたい。

○委員 文化財資料保管庫について、先ほど事務局が民具類の寄贈を受け入れると言っていたが、実際はこれ以上収納できるスペースがない状態だと認識している。現地を見たことがない委員もいるので、一度文化財調査委員会の中で文化財資料保管庫を見に行った方がよいのではないか。

○事務局 施設内が飽和状態であることは事実である。今年度民具の整理を行っており、寄贈の申出があれば、空いているところに置けなくなるまで収集するという方針である。平成29年度に、当時の委員の皆様により市立図書館、大間野町旧中村家住宅、旧東方村中村家住宅、文化財資料保管庫をご覧いただいている。

○委員 今年度の民具整理業務は文化財資料保管庫に収蔵された全ての民具が対象なのか。

○事務局 そのとおりである。文化財資料保管庫3階の大会議室から整理を始めている。民具類の一部は大間野町旧中村家住宅や旧東方村中村家住宅に保管されているため、所在確認を行っている。

○委員 新しい委員もいるので現地を確認する機会を設けてほしい。

○事務局 次回会議の際にご覧いただく形でよろしいか。

○委員長 郷土資料館のあり方検討とも絡む内容であり、現状を把握しておく必要があるため、年内に機会を設けてほしい。

○委員 文化財資料保管庫に保存されている、新たに寄贈を受けたという資料も見たい。

○委員 レイクタウン防災フェスやエコウィークの関連展示について、短期間の展示ではもったいない。郷土資料館で行う企画展に値するような内容となっているので、もっと期間を延ばして行ってほしい。

○委員長 これだけの図録は、資料としても価値のあるものだと思う。多くの方に知ってもらいたい。

○事務局 期間については検討する。令和4年からは、展示したパネルなどをホームページで公開し、より幅広く見ていただけるよう工夫をしている。

○委員 古民家だよりや東方西口遺跡発掘調査報告書についても素晴らし

い内容だと思う。

(2)文化財保護事業計画について

(主な質疑)

- 事務局 今年度の文化財調査委員会の会議予定について、資料では次回会議は2月となっている。先ほど次回会議で文化財関係施設の現地視察を行うこととなったが、予定通り2月の会議に行くか、別日に行くかについてご協議いただきたい。
- 委員長 事務局としては今年度の会議の開催回数は2回実施で決定なのか。
- 事務局 2回を予定していたが、2月より前に現地視察を行うべきであるという意見があれば検討する。
- 委員 2月は令和5年度の事業実施結果報告等に時間を要するため、2月よりも前に開催する方がよいのではないか。
- 委員 ※異議なし
- 委員 資料編の8ページ海道西遺跡の要約について、火葬土坑とあるが、過去の会議では土坑と説明されていた記憶がある。火葬土坑という記述は以前からしていたか。
- 事務局 火葬土坑ということは調査時点で把握していた。発掘調査報告書にも火葬土坑と記載をしている。要約の部分は、発掘調査報告書の中にある抄録を引用しているため、専門的な表現を使用しているが、今までの会議資料では土坑という記載をしていたかもしれない。
- 委員 今年6月に平方小学校に越谷市郷土芸能保存協会の方が神楽の体験などを指導しに来てくださり、子供たちが目を輝かせていたので今後もお願いしたい。
- 委員 石造物調査について、進捗状況を説明してほしい。
- 事務局 今年度の調査は大沢地区・荻島地区を予定しており、大沢地区についてはすでに報告のある「越谷市金石資料集」や加藤委員の報告、その他について確認が済んでいる。現在荻島地区に着手している。
- 委員 大沢地区に明らかに調査されていない石造物があるので調査をお願いしたい。
- 事務局 詳細な情報等をお聞きして追加する。
- 委員長 以前の会議で事務局にお願いしているが、文化財調査委員会の審議事項として文化財の指定及び解除に関するところがあるので、現在までに把握している指定文化財候補の一覧を作成していただきたい。様々なジャンルがあると思うが、調査の有無や緊急性なども含め年度末の会議頃までにまとめていただきたい。
- 委員 埋蔵文化財の発掘について、今年も気温が高く、熱中症の危険性が高いため、可能な限り暑い時期をずらして行っていただきたい。
- 委員 職員体制について、会計年度任用職員は国の指針により連続して任用できる期間に制限があるようだが、専門知識を身に着けた職員を長期的に任用できるように検討してほしい。
- 事務局 市史専門員は辞令上の任期は1年であるが、「越谷市市史専門員の勤務に関する要項」において再任を妨げないと定めている。中村家住宅の施設管理業務、埋蔵文化財整理補助業務、市史資料整理補助業務、文化財担当補助業務を行う職員は「事務補助」の職であり、庁内で同一所属での連続任用は原則3年までと整理して運用されている。
- 委員 専門的な知識を身に着けた会計年度任用職員が3年で異動となっ

てしまうのはもったいないのではないか。

- 委員長 人事や全国的な制度に係ることであるため、難しい問題だと思うが、事務局にはこのような意見が出たことを承知しておいてほしい。
- 事務局 職員の配置については過去の文化財調査委員会においてもご意見をいただいている。生涯学習課としても、円滑に業務を進めていくためには、専門的な知識やノウハウを持つ職員を継続して雇用する事が望ましいと考えており、これまでも、採用や配置、職員の定数管理を所管するセクションに対し、適正な人員配置となるよう申し出てきた。今回いただいた意見を踏まえ、今後も引き続き人材が拡充できるよう取り組んでいきたいと考えている。

デジタルアーカイブ事業について

(主な質疑)

- 委員 デジタルアーカイブ上に指定文化財はどの程度掲載されているのか。また、将来的に指定文化財の3Dデータを公開する予定はあるのか。
- 事務局 指定文化財については市史編さん時に写真を撮っており、その画像データを公開している。また、指定文化財を紹介した冊子も公開している。新しく指定され、冊子等に掲載のない文化財の一部は、関連資料を活用した記事を作成し、地域学習コンテンツとして公開しているものがある。市指定文化財の「西方村旧記」は、全て画像データ及び翻刻テキストを公開している。国登録文化財の大間野町旧中村家住宅及び市指定文化財の旧東方村中村家住宅は3D・パノラマ画像として公開している。
3Dスキャナー等でデータを取得する3Dデータをデジタルアーカイブ上に搭載する事はシステム上可能である。指定文化財について現時点では予定していないが、今後の予算も含め機会をとらえて検討していきたい。

5 その他

- 委員 越谷隕石について、今後文化財指定等のご検討をお願いしたい。
越谷隕石は明治35年に落ちており、平成5年に当時の越谷市郷土研究会会長がその調査成果を市民に公開した。今回、隕石の認定にあたっては、国立極地研究所で隕石をスライスして試料を作った。そして九州大学に送られて研究が引き継がれ、内部構造を解明している。太陽系形成直後のものであり、県内で一番古い隕石である。そのため文化財の指定を提案する。

6 閉会